

安全データシート（SDS）

1. 製品及び会社情報

製品名 : BASARA ステンコロリン赤スプレー
 (金属加工用切削油)

会社名 : R-GOT株式会社

住所 : 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-1-3

担当部門 : 研究開発室 技術課

電話番号 : 03-5459-1121

FAX 番号 : 03-5459-1120

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	区分
エアゾール	区分 1
眼に対する重篤な損傷性 または眼刺激性	区分 2B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（麻酔作用）

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険性有害情報

極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。高圧容器：熱すると破裂のおそれ。
 眼刺激。眠気又はめまいのおそれ。

物理的及び化学的危険性

高圧の引火性ガスが入っている。加熱、衝撃等により破裂の危険性がある。
 燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。
 燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
ステンコロリン赤	60~70	—	—
イソブタン	1~10	75-28-5	2-4
n-ブタン	10~20	106-97-8	2-4
プロパン	1~10	74-98-6	2-3

成分及び含有量

【第4類 第3石油類】 ステンコロリン赤： 60~70%

石油系炭化水素（潤滑油基油）： 約 60%
 （高度精製基油 IP346 法による DMSO 抽出物量 3%未満）

極圧添加剤（塩素系）： 約 40%

化学特性(化学式)： 特定できない

CAS ナンバー： 企業秘密なので記載できない。

官報公示整理番号： 企業秘密なので記載できない

【噴射剤 LPG】 イソブタン,n-ブタン,プロパン： 22～40%

危険有害成分

化学物質管理促進法(PRTR 法)： 非該当
 労働安全衛生法(通知すべき有害物)： 鉱油、イソブタン、n-ブタン
 毒物劇物取締法： 非該当

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい場所で休息させること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早くふき取る。
 水と石鹸で付着した部分をよく洗う。
 外観に変化がみられたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受ける。

眼に入った場合

清浄な水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 眼の中にすべて水が行き届くように洗浄すること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。

飲み込んだ場合

嘔吐物を飲み込ませてはならない。
 医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。
 安静を保ち直ちに医師の診断/手当を受ける。

応急措置をする者の保護:

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
 適切な換気を確保する。

医師に対する特別注意事項

現在のところ有用な情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は、泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

消火を行う者への勧告

特定の消火方法

水を消火に用いてはならない。
 指定の消火剤を使用する。
 消火活動は風上より行う。
 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
 エアゾール製品の場合は、高温で破裂する恐れがあるため、消火活動は距離を充分にとる。

消火を行う者の保護

適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
 周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項

河川への排出等により、環境への影響をおこさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理すること。

二次災害の防止策

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

付近の着火源・高温対及び付近の可燃物を素早く取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱い者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をさけること。

（火災・爆発の防止）

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。

禁煙。

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

局所排気・全体換気

室内で取り扱いを行う場合は、十分な換気を行う。

換気装置をつける場合は、防爆タイプを用いる。

注意事項

石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。

そのため換気及び火気などへ注意が必要である。

安全取扱い注意事項

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

使用後を含め、燃やしたりしないこと。

保管

適切な保管条件

換気よい場所に保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

避けるべき保管条件

日光から遮断すること。

温度が40℃以上のところでは保管しない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

（作業環境評価基準(平成21年厚生労働省告示194/195号)）

許容濃度

鉱油ミストとして： 日本産業衛生学会(2010)： 3mg/m³

n-ブタン： 日本産業衛生学会(1988)： 500ppm；1200mg/m³

イソブタン： 日本産業衛生学会(1988)： 500ppm；1200mg/m³

鉱油ミストとして： ACGIH(2010)時間荷重平均(TWA)値： 5mg/m³

n-ブタン： ACGIH(2012) STEL： 1000ppm（中枢神経系障害）

プロパン： ACGIH： 窒息性

イソブタン： ACGIH(2012) STEL： 1000ppm（中枢神経系障害）

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で行う。

排気/換気設備を設ける。

保護具

呼吸器用保護具：	呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具：	手の保護具を着用すること。
目の保護具：	保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：	保護衣を着用すること。
適切な衛生対策：	取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観	赤色透明液体
臭い	僅かな臭気
pH	データなし
初流点/沸点（℃）（プロパン）	-42℃
融点（℃）	データなし
凝固点（℃）	データなし
引火点	176℃（クリーブランド開放式）第4類 第3石油類 （プロパン：-104℃）
爆発特性（%）（LPG）	
爆発限界	下限 1.8vol % 上限 9.5vol %
蒸気密度	データなし
密度（g/cm ³ ）	約 1.001g/cm ³ (15℃)
溶解性	水に不溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
臭いの閾値	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性（固体・ガス）	データなし
動粘度	31mm ² /s(40℃)

10. 安定性及び反応性

安定性：	エアゾール製品の場合 40℃以上になると缶が破裂する恐れがある。
反応性：	酸化性物質等と触れると反応する危険性がある。
避けるべき条件：	加熱、スパーク、裸火、およびその他の発火源は避ける。
混触危険物質：	酸化性物質。
危険有害な分解生成物：	燃焼により一酸化炭素、窒素酸化物、その他低分子モノマーなどの有害ガスが発生する可能性がある。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性（吸入）

イソブタン gas：マウス LC50=11000ppm/4hr(ACGIH2004)

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分2] イソブタン（心臓）

[区分3] イソブタン（麻酔作用）

n-ブタン（麻酔作用）

プロパン（麻酔作用）

1 2. 環境影響情報

水溶解度

- 基油： 溶けない（ICSC, 2006）
- イソブタン： 溶けない（ICSC, 1998）
- n-ブタン： 0.0061g/100ml（20℃）（ICSC, 2003）
- プロパン： 0.007g/100ml（20℃）（ICSC, 2003）

生体蓄積性

- 基油： 有用な情報がなし。
- イソブタン： log Pow=2.8（ICSC, 1998）
- n-ブタン： log Pow=2.89（ICSC, 2003）
- プロパン： log Pow=2.36（ICSC, 2003）

オゾン層への有害性

モントリオール定義書で列記されたオゾン層破壊物質の含有なし。

その他

エアゾール製品にした為、基油についての吸引性呼吸器有害性の注意喚起マークの肺は不要との判断になりました。

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

1 3. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

エアゾール製品の場合は、焼却処理を行わないこと。

エアゾール製品の場合は、中身を完全に使い切り、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから捨てる。

中身の入ったものは絶対に廃棄しない。

ガスを抜く際には、火気およびミストの吸入などについて注意すること。

汚染容器及び包装

使用後を含め燃やしたりしないこと。

関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号： UN1950

品名（国連輸送名）： エアゾール、可燃性

国連分類（輸送における危険有害性クラス）： 2.1

指針番号： 126

国内規制

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。

海上輸送： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。

1 5. 適用法令

国内法令

消防法： 危険物 第4類第3石油類 危険等級Ⅲ（非水溶性）（198ml）

労働安全衛生法

別表第1危険物（第1条、第6条、第15条関係）

危険物・可燃性ガス（令別表第1第5号）

名称通知対象物（第57条の2、令第18条の2別表9）（2016年6月1日改正対応）

鉱油、n-ブタン、イソブタン

毒物劇物取締法： 該当しない

海洋汚染防止法： 油分排出規制（原則禁止）

化学物質管理促進法(PRTR法)： 該当しない

下水道法： 鉱油類排出規制（5mg/L）

水質汚濁防止法： 油分排出規制（5mg/L 許容濃度）

ノルマルヘキサン抽出分として検出される。

高圧ガス保安法： このエアゾール製品は容器内容積が1リットル以下、及び35℃に

おいて圧力は0.8MPa以下のため高圧ガス保安法の適用除外となります。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律： 産業廃棄物規則（拡散、流出の禁止）

16. その他情報（参考資料）

1. Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed. 2013) ,UN
2. Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit. 2013 UN
3. Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO 6182012)
4. 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
5. 2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)
6. <http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
7. JIS Z 7253 (2012年)
8. JIS Z 7252 (2014年)
9. 2015 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）
10. Suppliers data/information

安全データシート(SDS)は、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報

とし取扱事業者提供されるものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。